

定住自立圏構想

中心市宣言書

平成 27 年 9 月
広島県三原市

三原市定住自立圏中心市宣言

本市は、平成 17 年 3 月 22 日に、旧三原市、旧本郷町、旧久井町、旧大和町の 1 市 3 町が合併し誕生した。

これにより、本圏域の行政・経済・生活圏などのつながりが強化されるとともに、地形的には島しょ部、沿岸部、高原部という多様な特長と、魅力的な地域資源を有するまちとなった。

その後、平成 17 年度に策定した長期総合計画で定めた「一人ひとりが輝くまち」「幸せを実感できるまち」「活力を生み出すまち」の理念のもと、新市として、歴史・文化、自然、交通環境等、地域特性を活かしたまちづくりを進めるため、医療・福祉の充実や企業誘致等産業振興、都市基盤整備や生活基盤整備などに着実に取り組んできたところである。

しかしながら、人口減少や少子高齢化の進行などの問題や、中心市街地や中山間地域の衰退等、市民の暮らしに関する問題、厳しい社会経済環境における税収減などの財政運営における課題等、社会環境変化の影響などもあり、本市を取り巻く状況の厳しさは一層増している。こうした中、この対策に向け、今後はより一層、圏域としての、機能の補完や役割の分担等により、街全体が一体として維持・活性化に取り組むまちづくりが必要である。

平成 26 年度に策定した新たな長期総合計画では、将来のまちの構造として「コンパクト＋ネットワークの形成」を掲げ、市域内の各種機能を一定エリアへ集約するとともに、地域間の移動手段を確保し、各地域をネットワーク化することで、不足する機能を地域間で補い、市域全体における暮らしや都市機能の活用を支えていくこととしている。

こうしたことから、旧三原市を中心地域、旧 3 町を周辺地域とした「三原市定住自立圏」を形成し、圏域全体の総合的なマネジメントを行っていくこととする。

中心地域と周辺地域の連携により、相互に役割や機能を分担するとともに、圏域に必要な生活機能を確保し、市民に対して満足度の高い各種行政サービスを提供することで、本市の総合的な発展をめざすことをここに宣言する。

平成 27 年 9 月 28 日

三原市長 天満 祥典

1 旧三原市（中心地域）における都市機能の集積状況

公共施設等による各種サービス機能，中核的な医療機能，大規模商業・娯楽機能その他行政及び民間分野における都市機能の集積状況は，次のとおりであり，旧三原市は定住自立圏を形成する区域の中心地域として，その機能が確保されている。

	旧三原市	旧本郷町	旧久井町	旧大和町	合計
人口	78,262 人	10,979 人	4,727 人	6,541 人	100,509 人
構成割合	77.9%	10.9%	4.7%	6.5%	100%

出典：平成 22 年 国勢調査（総務省）

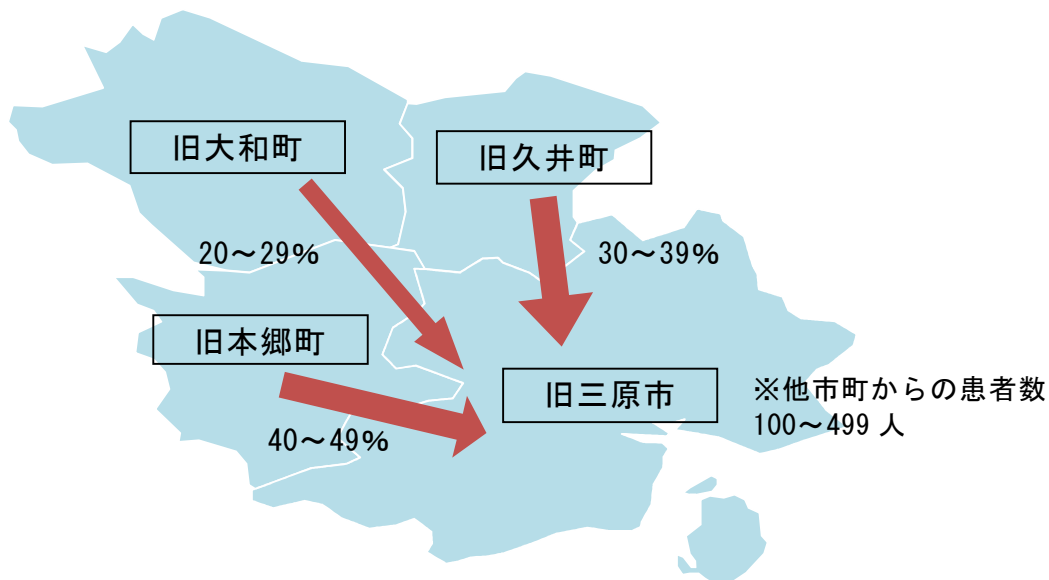
	施設等	施設名
交通	高速道路等	山陽自動車道，三原バイパス
	主要鉄道駅	JR 三原駅（山陽新幹線，山陽本線，呉線）
	国道	国道 2 号，国道 185 号，国道 486 号
	重要港湾	尾道糸崎港（三原港，糸崎港）
医療・福祉	救急医療体制	【初期救急医療機関】 三原市医師会休日夜間急患診療所
		【二次救急医療機関】 （病院群輪番制病院） 社会医療法人里仁会興生総合病院， 医療法人清幸会三原城町病院， 総合病院三原赤十字病院 （救急告示病院） 三原市医師会病院，三菱三原病院， 医療法人社団明清会山田記念病院
	地域医療支援病院	三原市医師会病院
	災害拠点病院	社会医療法人里仁会興生総合病院 総合病院三原赤十字病院
	産婦人科医療機関	おばたクリニック，柴田産婦人科皮膚科， 社会医療法人里仁会興生総合病院， 総合病院三原赤十字病院， なんばレディースクリニック
	介護老人福祉施設	特別養護老人ホームサンライズ大池， 特別養護老人ホーム白滝園， 特別養護老人ホームすなみ荘， 特別養護老人ホーム三原慶雲寮
	介護老人保健施設	社会医療法人里仁会介護老人保健施設里仁苑， 老人保健施設桃源の郷，老人保健施設三恵苑
	介護療養型医療施設	社会医療法人里仁会仁生病院， 三原市医師会病院

	施設等	施設名
教育・文化	高等学校	県立三原高等学校， 県立三原東高等学校， 私立如水館高等学校
	特別支援学校	県立三原特別支援学校
	専修学校	三原看護専門学校， 三原国際外語学院
	大学	県立広島大学三原キャンパス
	文化施設	芸術文化センターポポロ， 三原リージョンプラザ（文化ホール）
	図書館	中央図書館
	博物館	歴史民俗資料館
	スポーツ施設	三原リージョンプラザ（体育館）， 武道館， やまみ三原運動公園
	C A T V	三原テレビ放送
経済・観光	金融機関	中国銀行， 広島銀行， もみじ銀行， しまなみ信用金庫， 呉信用金庫， 中国労働金庫， 広島県信用組合， 三原農業協同組合， ゆうちよ銀行
	大規模小売店舗	イオン三原ショッピングセンター， フジグラン三原， ダイキ・フレスタ三原店， エスポ三原， ユアーズ三原店， デオデオ三原店， ユーホーイン三原店， パルディ西町店， ニチエー江南店， ヤマダ電機テックランド三原店， ダイキ三原円一店， フードガーデンニチエー中之町店， ユーホー三原城町店， ドラッグコスモス宮浦店
	観光協会	三原観光協会
	商工団体	三原商工会議所
行政機関	国等の機関	公共職業安定所， 労働基準監督署， 税務署， 福山河川国道事務所三原国道維持出張所， 三原年金事務所
	県の機関	三原警察署， 東部建設事務所三原支所， 下水道公社三原支所

2 旧本郷町，旧久井町，旧大和町の住民による都市機能施設の利用状況

旧町（周辺地域）の住民も旧三原市に集積された都市機能を活用しているなど，旧三原市の都市機能は周辺地域にも及んでおり，旧三原市がこの地域で，経済，社会，文化など住民生活等において中心的な役割を担うなど，旧町地域と密接な関係を築いている。

①入院患者の旧三原市への依存状況



出典：平成7年 広島県患者調査報告書

②各地域の買い物等の動向割合

	自治域内	旧三原市	旧三原市以外の市内 の他地域及び市外
旧三原市	88.0%	—	12.0%
旧本郷町	41.5%	47.2%	11.3%
旧久井町	16.2%	46.1%	37.7%
旧大和町	23.4%	14.3%	62.3%

出典：平成15年度 広島県商圈調査結果報告書（消費者購買動向調査結果）

3 旧町（周辺地域）から旧三原市（中心地域）への通勤・通学者数の状況

旧町から旧三原市に通勤または通学する住民の割合は、次表のとおりであり、旧三原市は市域内の住民生活等において中心的な役割を担っている。

	通勤者 総数	旧三原市への通勤割合		通学者 総数	旧三原市への通学割合	
		人数	割合		人数	割合
旧本郷町	5,769人	1,681人	29.1%	620人	234人	37.7%
旧久井町	2,952人	428人	14.5%	277人	99人	35.7%
旧大和町	3,891人	153人	3.9%	620人	17人	2.7%

出典：平成12年 国勢調査（総務省）

4 想定される取組

圏域全体の維持・活性化を通じて人口定住を図るという観点から、中心地域と周辺地域が役割分担しながら連携して行うことが想定される主な取組は、以下のとおりである。

（1）生活機能の強化に係る取組

a 医療

医師及び医療従事者の確保・養成，医療提供体制の充実，地域医療情報ネットワークの整備・推進

b 福祉

子育て支援環境の整備，高齢者・障害者福祉サービスの充実，地域包括ケアシステムの構築

c 教育

教育環境の整備，青少年の健全育成，高等教育機関との連携

d 土地利用

都市機能の集約化，中山間地域の振興

e 産業振興

企業誘致・創業支援，中心市街地活性化，地場産業の育成，雇用機会の確保，観光振興，地域ブランド化，農林水産業の担い手育成と生産振興

（2）結びつきやネットワークの強化に係る取組

a 地域公共交通

生活交通及び基幹交通の維持・確保

b 道路等の交通インフラの整備

地域や拠点間の連携を担う幹線的な道路の整備，基幹道路のネットワーク整備，生活基幹道路の整備

c 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消

農水商工連携による地産地消の推進

d 地域内外の住民との交流・移住促進

定住促進の充実，空き家の利活用，交流人口の増加策，安心・安全なまちづくり

e a から d までに掲げるもののほか，結びつきやネットワークの強化に係る取組

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る取組

a 宣言中心市等における人材の育成

講座・研修等による人材育成

b 宣言中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保

外部人材の登用